

# Contact Center Uploaderツールを使用した証明書の交換

## 内容

---

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

[UCCE/PCCEモード](#)

[ESXiモード](#)

[フリーモード](#)

[ツールの実行](#)

[技術詳細](#)

---

## 概要

このドキュメントでは、Unified Contact Center Enterprise(UCCE)ソリューションで証明書を取得してアップロードするContact Center Uploader Tool(UUPP)について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- UCCEリリース12.6(1)
- Customer Voice Portal(CVP)リリース12.6(1)
- Enterprise Chat and Email(ECE)リリース12.6(1)

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づいています。

- UCCE 12.6(1)
- CVP 12.6(1)
- ECE 12.6(1)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始していま

す。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 背景説明

12.x以降のUCCE/PCCEソリューションでは、すべてのデバイスがプリンシパルAdmin Workstation(AW)サーバでホストされるSingle Pane of Glass(SPOG)を介して制御されます。PCCE 12.XバージョンのSecurity-Management-Compliance(SRC)により、ソリューション内のSPOGと他のサーバ間のすべての通信は、セキュアHTTPプロトコルを使用して厳密に行われます。

証明書は、SPOGとその他のデバイス間でシームレスで安全な通信を実現するために使用されます。自己署名証明書の環境では、サーバ間の証明書交換が必須になります。この証明書交換は、Smart Licensing、Webex Experience Management(WXM)、Customer Virtual Assistant(CVA)など、12.5および12.6バージョンに存在する新機能を有効にするためにも必要です。

## 問題

証明書の交換は、Javaに慣れていないユーザにとっては困難な作業になる可能性があります。keytool特にセルフサービス証明書が使用されている場合に使用されます。

操作が正しくない場合、ソリューションの構成とその状態に問題が発生する可能性があります。


証明書は期限切れになる可能性があり、証明書の更新は別の課題です。

## 解決方法

この記事には、Javaで作成されたContact Center Uploader Tool(CCUT)へのリンクが含まれており、作業に役立ちます。

このツールは、UCCEデータベースまたはESXiホストに接続し、そこからすべてのホストに関するデータを取得し、各ホストから証明書を取得して、それをJava cacerts信頼ストアにアップロードできます。

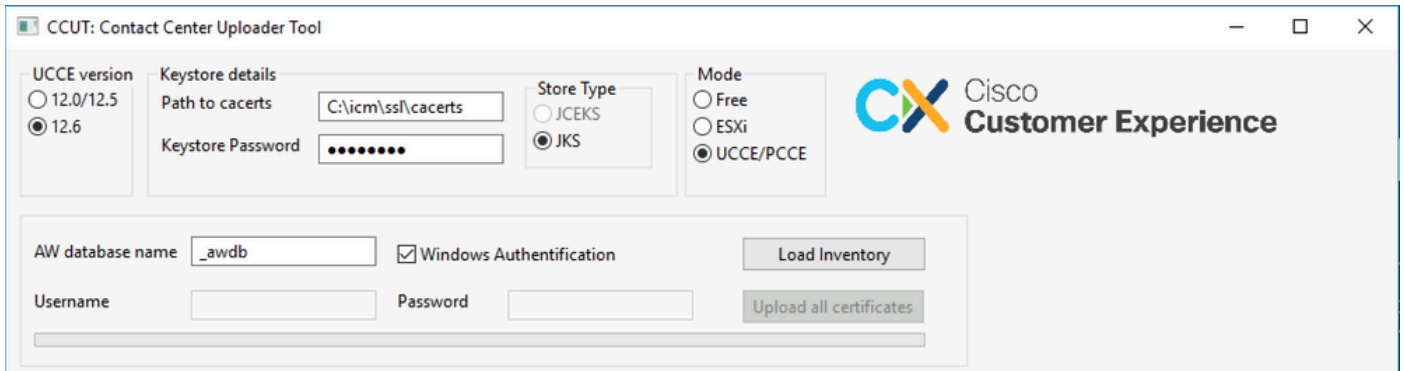
---

 注：このツールはCisco TACエンジニアによって作成され、正式なサポートはありません。フィードバック、質問、および問題については、[ccut@cisco.com](mailto:ccut@cisco.com)を使用できます。

---

## UCCE/PCCEモード

UCCE/PCCEモードのツールのメインアプリケーションウィンドウは次の図のとおりです。



- **AW database name:** awデータベース、ロガー、またはpciceinventoryデータベースの名前を指定します。t\_Machine...テーブルにデータが存在する必要があります。  
データベースコンポーネントがインストールされていないUCCEホストでツールを実行する場合、リモートのSQL(Structured Query Language)サーバ名をデータベース名のプレフィックスとして追加できます。  
例 : AWHDS-A\pcce\_awdb  
これは、ペリフェラルゲートウェイ(PG)またはROUTERマシンに適用されます。
- **Username と Password** データベースデータを読み取るアクセス権を持つSQLユーザ用。次の項目を確認します。 Windows Authentication SQLの代わりに統合Windows認証を使用します。
- **UCCE version:** cacerts ファイルへのパッチは、インストールされているUCCEのバージョンによって異なります。
- **Path to cacerts:** cacertsファイルの場所。UCCE 12.6.XではシステムがC:\icm\ssl\cacertsを使用し、UCCE 12.5ではデフォルトのJavaトラストストア (%CCE\_JAVA\_HOME%\lib\security\cacert)を使用します。
- **Keystore Password:** cacertsストアのデフォルトパスワードはchangeitです。
- **Store Type:** UCCEはストアのJKSタイプを使用し、CVPはJCEKSを使用します。
- **Load Inventory** ボタン:ツールは上記のデータベースに接続し、インベントリデータを表示します。
- **Upload all certificates** ボタン : このボタンは、ツールがデータベースからデータを取得した後で使用できます。

画像にロードされたデータの例 :

CCUT: Contact Center Uploader Tool

UCCE version  
 12.0/12.5  
 12.6

Keystore details  
 Path to cacerts: C:\icm\ssl\cacerts  
 Keystore Password: ●●●●●●

Store Type  
 JCEKS  
 JKS

Mode  
 Free  
 ESXi  
 UCCE/PCCE

AW database name:   Windows Authentication

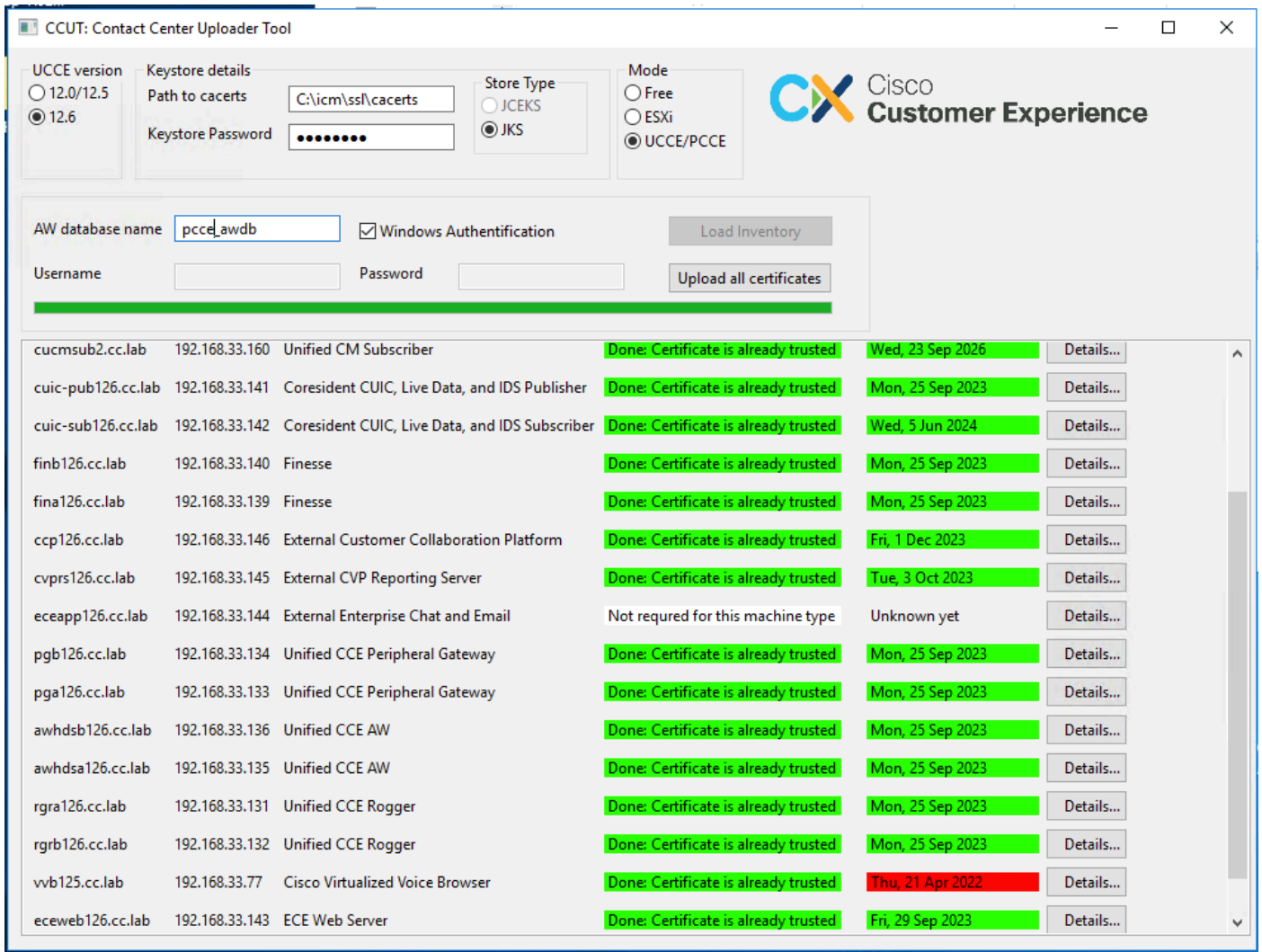
Username:  Password:

Hostname	IP-address	Machine Type	Status	Expiration date	Details...
cvpcsa126.cc.lab	192.168.33.137	Unified CVP	Unknown yet	Unknown yet	<input type="button" value="Details..."/>
cvpcsb126.cc.lab	192.168.33.138	Unified CVP	Unknown yet	Unknown yet	<input type="button" value="Details..."/>
cucmpub.cc.lab	192.168.33.20	Unified CM Publisher	Unknown yet	Unknown yet	<input type="button" value="Details..."/>
cucmsub.cc.lab	192.168.33.120	Unified CM Subscriber	Unknown yet	Unknown yet	<input type="button" value="Details..."/>
cucmsub2.cc.lab	192.168.33.160	Unified CM Subscriber	Unknown yet	Unknown yet	<input type="button" value="Details..."/>
cuic-pub126.cc.lab	192.168.33.141	Coresident CUIC, Live Data, and IDS Publisher	Unknown yet	Unknown yet	<input type="button" value="Details..."/>
cuic-sub126.cc.lab	192.168.33.142	Coresident CUIC, Live Data, and IDS Subscriber	Unknown yet	Unknown yet	<input type="button" value="Details..."/>
finb126.cc.lab	192.168.33.140	Finesse	Unknown yet	Unknown yet	<input type="button" value="Details..."/>
fina126.cc.lab	192.168.33.139	Finesse	Unknown yet	Unknown yet	<input type="button" value="Details..."/>
ccp126.cc.lab	192.168.33.146	External Customer Collaboration Platform	Unknown yet	Unknown yet	<input type="button" value="Details..."/>
cvprs126.cc.lab	192.168.33.145	External CVP Reporting Server	Unknown yet	Unknown yet	<input type="button" value="Details..."/>
eceapp126.cc.lab	192.168.33.144	External Enterprise Chat and Email	Unknown yet	Unknown yet	<input type="button" value="Details..."/>
pgb126.cc.lab	192.168.33.134	Unified CCE Peripheral Gateway	Unknown yet	Unknown yet	<input type="button" value="Details..."/>
pga126.cc.lab	192.168.33.133	Unified CCE Peripheral Gateway	Unknown yet	Unknown yet	<input type="button" value="Details..."/>
awhdsb126.cc.lab	192.168.33.136	Unified CCE AW	Unknown yet	Unknown yet	<input type="button" value="Details..."/>

インベントリデータは、次の6つのコラムで構成されます。

- ホスト名
- IPアドレス
- マシンタイプ
- 証明書データまたはエラーの詳細の状態
- 証明書の有効期限
- 詳細

Upload all Certificatesボタンの結果は、次のようになります。



緑色のマークが付いた各行が成功します。

赤または黄色の行は注意が必要です。

## ESXiモード

インベントリがまだ設定されておらず、t\_Machine...テーブルにデータが含まれていない場合は、ESXiモードをPCCE/UCCEの新規インストールに使用できます。

このツールはESXiホストに接続し、そこからすべての仮想マシンに関するデータを取得します。

ゲストオペレーティングシステムから仮想マシン(VM)名、VMアノテーション、ホスト名を要求します。

VMアノテーションは、マシンのタイプを識別するために使用されます。

VmWareツールはVM上で実行する必要があります。実行しない場合、ホスト名は設定されません。

。

ESXiモードのツールは次の図のとおりです。

CCUT: Contact Center Uploader Tool

UCCE version:  12.0/12.5  12.6

Keystore details: Path to cacerts: C:\vcm\ssl\cacerts, Keystore Password: [masked]

Store Type:  JCEKS  JKS

Mode:  Free  ESXi  UCCE/PCCE

ESXI server address: esxi.cc.lab [Load VMs]

Username: root Password: [masked] [Upload all certificates]

VM name	VM Type	Hostname	Ports	Status	Expiration date	Details...
MyTestVM	Unknown	Not available		N/A		
test_2	Unknown	Not available		N/A		
UCCE	UCCE	RGRA126	443 and 7890	Portico: Done: Certificate is already trusted	IIS: Mon, 25 Sep 2023 Portico: Mon, 25 Sep 2023	Details...
cvp	CVP	CVPCSA126	8111	Done: Certificate is already trusted	Mon, 25 Sep 2023	Details...
Finesse	Finesse	FINB126	8443	Done: Certificate is already trusted	Mon, 25 Sep 2023	Details...
CUIC	CUIC	CUIC-PUB126	8443	Done: Certificate is already trusted	Mon, 25 Sep 2023	Details...
VMware vCenter Server	Unknown	Not available		N/A		

注:VCenterは接続に対してサポートされていません。

## フリーモード

このツールのもう1つのモードはフリーモードです。

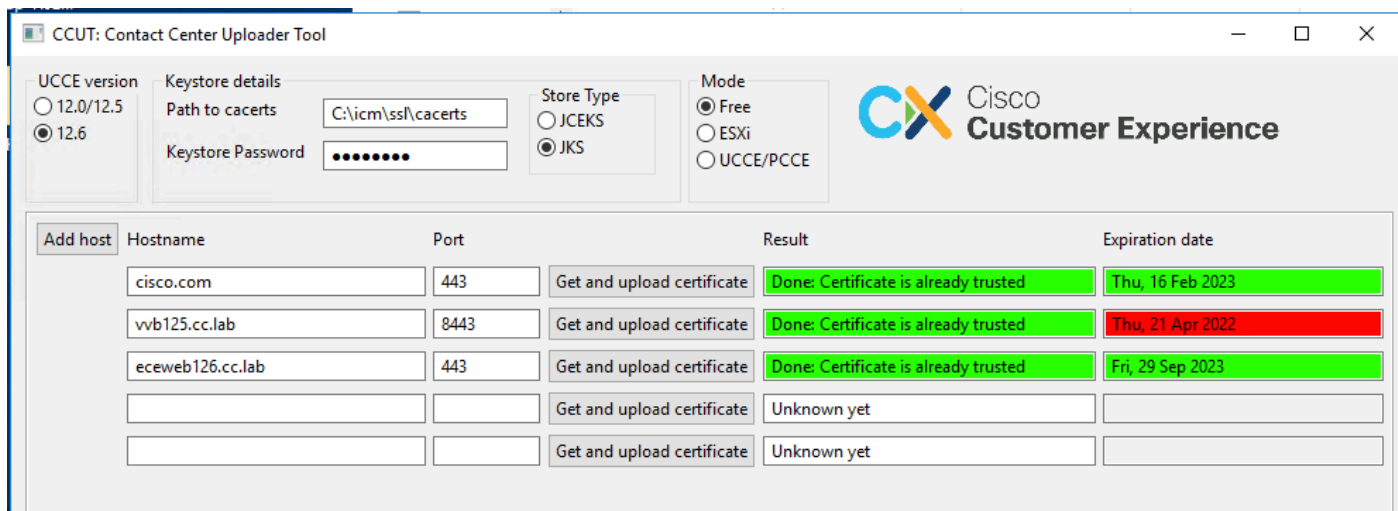
UCCEデータベースを使用できる必要はなく、このツールを使用してCVPまたはECEに証明書をアップロードできます。

使用例：

- サードパーティのWebサービス証明書を取得してCVPにアップロードします。
- メールサーバの証明書を取得してECEサービスサーバにアップロードします。
- Intrusion Detection System(IDS)証明書を取得して、ECEアプリケーションサーバにアップロードします。

注：いくつかの制限により、ツールは証明書をCVP .keystore ファイルにアップロードできません。

Freeモードのツールの例を次の図に示します。



## ツールの実行

[Contact Center Uploader Tool](#)をダウンロードします。

ダウンロードしたアーカイブファイルを展開します。

Launcherファイルには、jarおよびJavaへのパスが含まれています。

必要に応じて、Javaおよびjarファイルへのパスを更新します。

管理者権限でコマンドプロンプト(cmd)を開きます。

cdコマンドで解凍したフォルダに移動し、LauncherX86.batを実行してツールを起動します。



注意：常に信頼ストアファイルのバックアップを取ってください。

## 技術詳細

- このツールはホストに接続し、証明書が信頼されているかどうかを確認します。信頼されていない場合は、証明書がアップロードされます。
- 証明書は、util-vvb125.cc.lab-8443などのエイリアスutil-[hostname]-[port]を使用してアップロードされます。
- ホストは複数の証明書を送信できます。この場合、ツールは、これらすべての証明書をルートプレフィックスまたは中間プレフィックス（あるいはその両方）としてアップロードします。
- このツールはjava 1.8でコンパイルされています。
- デフォルトでは、このツールはlocalhost:1433でデータベースに接続します。
- 最小画面解像度は1024 x 768です。スケールモードはサポートされていません。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。